

【様式 02】高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	06207
----------	-------

1. 開設大学	県立広島大学			開催方法 (キャンパス・施設)		■対面 (広島キャンパス) □オンライン (同時・録画)	
2. 科 目 名	生命現象の探究とその応用						
	学問分野	番 号	33	名 称	農学		
3. 担当教員	岡田 守弘 生物資源科学部 生命環境学科 生命科学コース 准教授 山下 泰尚 生物資源科学部 生命環境学科 生命科学コース 教授						
4. 開講期間 (曜日)	令和 7 年 7 月 26 日 (土)						
開講時間	9 時 00 分～10 時 30 分 (90 分 岡田) 10 時 40 分～12 時 10 分 (90 分 山下)						
個別開講日	1 回目 /	2 回目 /	3 回目 /	4 回目 /	5 回目 /	6 回目 /	
5. 募集定員	30 人						
6. 科目内容・ 授業計画	生命科学コースでは、「生命機能の解明」や「生命資源の開発」に関する教育・研究を通じて社会で活躍できる人材の育成を目指しています。本公開講座では、生命科学コースの魅力を知っていただくために、教員が取り組んでいる研究を分かりやすくお話し致します。 1. 9 時 00 分～10 時 30 分 岡田守弘「なぜ生き物はがんで死亡するのか？」 現在、日本人の 2 人に 1 人は一生のうちに何らかのがんになり、3 人に 1 人ががんで死亡すると報告されています。しかし、「がん患者はがんによってどのように死亡するのか」という一見簡単そうな質問に対して、実は明快な答えはありません。 がん患者は、がんが進行すると体重減少や食欲不振などを起こして全身症状が悪化し「がん悪液質」と呼ばれる状態に陥ります。私は、この馴染みのないがん悪液質という病気をテーマに取り組む数少ない研究者の 1 人です。本講座では、モデル生物ショウジョウバエを用いたがん悪液質の研究について解説します。「“虫”を使ってがん研究をする意味はあるのか？」と思われた皆さん、“無視”できない理由がきっと本講座を聞くことで明らかになるはずです。 2. 10 時 40 分～12 時 10 分 山下泰尚「体内に習い、卵子を育てる」 卵巣の未成熟な卵子を体外で成熟させ産子を得る体外培養法は、不妊治療や家畜の生産に用いられていますが、移植胚の作製効率の低さから、改良が求められています。 卵子は、周りの体細胞からの分泌因子や栄養成分により発生できる能力を獲得することができるようになることが知られています。私たちのグループでは「分泌因子や栄養成分の体内動態を調べ、これを卵子の体外培養に応用する研究」を行い、移植胚の作成効率を飛躍的に向上させることに成功しました。本講座では、私たちの「体内に学び、卵子を育てる」方法の紹介を中心に、医療分野や獣医畜産分野における課題や解決策などについて解説します。						
7. 受 講 料	無料						
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし						
9. 開講条件 ※1 あり・ ない	① 最少開講人数 (人) 定員超過の不許可は選考により決定						
	② 不許可・不開講通知日：6 月末まで						
その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など なし						
開設大学への交通手段	https://www.enica.jp/ 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。						

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。